

2009年12月8日

能登半島地震と八世乃洞門(はせのどうもん)新トンネルの開通

平成19年3月25日に発生した能登半島地震(最大震度6強)は各地で大きな被害をもたらしました。

中でも八世乃洞門が岩盤の大崩落で直撃・損壊し、能登半島の動脈である国道249号が分断され、能登の観光、経済活動に甚大な打撃を与えました。

地震直後から応用地質(株)は県とともに、余震や大雨等による不安定な岩肌からの落石等を毎日厳しく監視しながら被災した現道の安全な通行確保を図ってまいりました。さらに、弊社は八世乃洞門の応急復旧に関する調査・解析、関係機関との協議資料等を作成し、そして本復旧となった八世乃洞門新トンネルの設計を担当いたしました。

2年7ヶ月間、事故やトラブルもなく無事に予定より2ヶ月早く11月1日に八世乃洞門新トンネルが完成・供用となり、地域に貢献することができました。



全壊家屋 593 棟



全面通行止め



被災状況全景



本件に関するお問い合わせは経営企画本部広報部までお願いします。

TEL:03-3234-0811 E-mail:kikaku@oyonet.oyo.co.jp